令和6年度 自己評価と学校関係者評価

学校自己評価	学校関係者評価	
	意見	対応
(1)教育理念・目標 ・学校の理念・目標・育成人材像が明確に定められ、国際化する社会、企業・業界のニーズを定義できている ・時代の変化に対応する将来の構想について適宜見直しが必要とされている	毎週月曜日に行われている全校生徒に向けた朝礼も、学生・教職員ともに目標を再確認する場として、効果的に機能していると感じます。	職員一同が教育理念・目標を共有し具体的に教育現場に活かしていくようさらに努力していきます。
(2)学校運営 ・年度目標に沿って運営方針を定め事業計画を策定している ・学生の進路先である企業・業界・大学、学生募集窓口の高等学校や海外学校・提携エージェントとの連携はできている ・外部環境や時代の変化に対応できる組織運営を構築し、職員の育成を図ることが求められている ・シリコンバレー研修を含む研修の実施	教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられている。未実施であったシリコンバレー研修についてはどのように考えておられるか	昨年度は未実施で、費用の高騰で金銭面で学生にとっては参加が厳しくなっている。シリコンバレー研修に参加した学生の成長は目を見張るものがあり、オンラインであっても今後も続けていきたいと考えている。しかし別の選択肢についても検討する必要性があると感じている
(3)教育活動 ・入学希望者のニーズや企業からの要望について、時代の変化を取り入れながら活動している ・就職先や進路先で求められる要件と課題を明確にしカリキュラムに反映している ・社会人として直ぐに対応できるよう、学生の生活態度や行動規範について学校生活や宿舍生活においても指導している ・留学生については日本社会に対応できるよう、日常生活に踏み込んだ指導を行っている ・進路先での技術・学力評価、人物評価を想定した目標を養うことを教員が心がけている ・卒業生の情報を収集し、進路先での問題点を抽出している	各企業が新入社員に何を期待しているか、その変化を学生が感じ取る必要があり、学校にはその為の準備をして欲しい。仕事ができる＝会社が欲しいではないリアルで人と関わる力、挨拶、返事ができる等の基本的なコミュニケーションスキルが大切になってくるのでそこを学校生活で身に付けてほしい。	コロナ以前にできていたことができなくなっている部分があると思われる。「朝の挨拶活動」を行いアナログ的なところから改善していく。また、学生数増加に伴い、細部にまで教育は行き届いていない部分もあるので今後強化していく。
(4)学習成果 ・資格対策やものづくりの向上については一定の成果をあげているが、より実践的な技術を磨くことを課題としている また、キャリア教育の面で課題を整理している ・日本語能力試験対策においても一定の成果をあげている	1年次での基礎学力強化と資格取得を行う流れは正しいと思われるので今後も引き続き継続していただきたい。 清風の学生は他校と比べて会社への応募数が少ないと感じている。第一希望の会社だけではなくもっと受けるべきだと思う。	AI時代に対応するため、専門用語を理解するためのITパスポート試験の取得が必須だと考えている。それを教育や授業につなげるかは今後工夫が必要。応募が少ない原因に学生自身の作品数が少ないことがある。クオリティは気にしなくてはいけないがそれだけでは無いことを伝えていきたい。また、
(5)学生支援 ・学生との個別面談などを通じて個々の学習面、生活面での観察サポートは一定の成果をあげている ・保護者や出身校との情報共有を含め学生のメンタルケアの予防や対応を図っている ・留学生アルバイトについて、アルバイト先開拓やクレーム窓口を含め担当職員をおき管理している ・就職センター職員を増員し面接練習等の対応で手厚いサポートが可能となった。	就職の門は狭くなってきており、SPI等の試験系を重視し始めている。面接等の練習やプログラミング等の技術も重要かと思うが、土台の上に技術があるのでまずは基礎を大切にしてほしい。	覚える、考える、整理する、表現する、説明する、表現することの大事さを伝えていきたい 基礎学力が重視される時代が来ている。すららを使って基礎学力の向上は徹底していきたい
(6)教育環境 ・施設・設備についての課題を抽出し、解決にむけ改善着手している ・計画に基づいて防災対策を整備している ・専攻の講師を増員する	学生数増加に伴い専攻講師を増員したことは評価できる。学生の理解度は人それぞれなのでできる限りのサポートを行ってほしい。	引き続き学生を第一に考え、状況に合わせた対応を行っていきたく思います。今後はcopilotのために学内PCをwindows11への入れ替えを検討しています。
(7)学生の受け入れ募集 ・目標に向け計画的にルールに従って活動している ・学習成果が評価されるように情報発信している。また効果的な情報発信ができるよう工夫している ・留学生については、現地面接と家庭訪問により経済的基盤などを確認し、入国審査に対応できるようにしている	オープンキャンパスを年間30回以上開催されておられ、またそれ以外の会場ガイドで、入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じます。また、学校ホームページやSNS等で学生作品等の情報が発信されていることで入学を検討する上での判断材料となっている。	入学希望者に対してよりわかりやすく本校の魅力や成果を伝える為、SNSで発信していく努力をしています。
(8)財務 ・デザイン・コンピュータ学科は数年前と比べ入学者数が減少 ・日本語科は新型コロナ禍の影響も少なくなり、入学学生数が改善	新入生が減少しているのは何か原因がありますか	大学との兼ね合いもありデザイン・コンピュータ学科は入学者数が減少しました。学生募集により力を入れていきます。
(9)法令等の遵守 ・平成25年度より自己評価を実施し公開している ・留学生の受け入れ、生活支援において在籍管理を徹底している また、犯罪や不法滞在を未然に防ぐべく、警察との情報交換を定期的に実施している	自転車に関する道路交通法が改正され、また、2026年からは自転車の交通違反に反則金制度の導入となっている。留学生の事故が多いと聞くと大丈夫か。	学校周りは狭い道が多く自転車を使う留学生にとってはトラブルの元となっています。地元の阿倍野警察署とも連携し、また担任からも制度について周知していき、事故トラブルが無いように取組んでいます。
(10)社会貢献・地域貢献 ・学生が地域の祭りに参加しイベントのサポートを実施している、また近隣の清掃を定期的に実施している ・教育業界の各団体の役員・メンバーとなり活動している ・日本語教師養成講座を年2回開講し、社会人の転職活動を支援している ・ウクライナ避難支援として日本語科にて学生を受け入れている	地域の祭りや清掃活動などに参加する機会はありません。周辺地域の方々に学生の姿を見ていただけるため、大切にしているのが学習面だけではないということを知っていたら良い機会であり、継続して欲しい。ウクライナ学生支援会については国内外にも影響あり国際支援活動に貢献してください。	出来る事に参加して継続して、学外での活動を通じて人間教育をしていきます。ウクライナ避難支援活動を行い、学生支援に取組んでいます。応援をお願いします。